

2016年度 第3四半期連結決算概要

2017年2月8日

ブラザー工業株式会社

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

今年度より、国際会計基準、IFRSを適用しております。比較対象となる15年度の数字もIFRSベースの数字に組み替えておりますので、ご注意ください。

なお、資料中に「事業セグメント利益」という科目がございますが、これは、日本基準における営業利益に近い概念の利益指標であり、営業利益と合わせて、損益管理の指標として開示してまいります。

2016年度第3四半期 連結業績概要



単位：億円

	16年度 Q3累計	15年度 Q3累計	増減率 ()は為替影響 除く増減率	16Q3	15Q3	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	4,769	5,228	-8.8% (+2.7%)	1,666	1,813	-8.1% (+2.9%)
事業セグメント利益	494	452	9.3%	147	182	-18.8%
事業セグメント利益率	10.4%	8.6%		8.8%	10.0%	
営業利益	473	515	-8.2%	112	213	-47.5%
営業利益率	9.9%	9.9%		6.7%	11.7%	
税前利益	489	505	-3.3%	118	212	-44.4%
純利益	387	363	6.7%	117	151	-22.9%
換算レート						
USD	107.88	121.49		108.72	121.07	
EUR	119.13	133.67		117.70	132.37	

<10-12月期のポイント>

売上収益：円高による為替のマイナス影響（△200億円）が大きく、円ベースでは減収とはなったものの、P&S事業が製品本体を中心に各地域で堅調に推移したほか、産業機器やドミノ事業も堅調に推移し、現地通貨ベースでは増収となる。

事業セグメント利益：為替のマイナス影響（△38億円）により、減益となる。

営業利益：想定為替レートに対し円安が進んだことにより、為替予約に関する損益が悪化し、大幅な減益となる。

© 2017 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2

16年度第3四半期3ヶ月実績の概要です。

売上収益は、円ベースではマイナス8.1%、147億円の減収となる、1,666億円となりました。ただし、円高による影響が約マイナス200億円ありましたので、実質では2.9%の増収でした。

事業セグメント利益は、18.8%、35億円の減益となる147億円となりました。円高による影響がマイナス38億円ありましたので、実質ではほぼ前年並みの水準となります。

営業利益は、47.5%、101億円の減益となる112億円となりました。事業セグメント利益が35億円の減益となったことに加え、為替差損益が約52億円悪化したことが主な要因となります。

親会社の所有者に帰属する四半期純利益は、22.9%、34億円の減益となる117億円となりました。

なお、昨年12月26日に公表した、「株式会社エクシングの完全子会社化に関するお知らせ」にありますとおり、子会社のエクシングを100%子会社化することで得られる税効果会計上のメリットを織り込んだ結果、純利益の水準が実態より高くなっております。

2016年度Q3実績 セグメント別概要



単位：億円

売上収益	16年度Q3	15年度Q3	増減率	為替影響を除く 増減率
全社	1,666	1,813	-8.1%	2.9%
プリンティング & ソリューションズ	984	1,108	-11.2%	-1.0%
パーソナル & ホーム	136	156	-12.9%	-3.2%
マシンリー	227	209	8.8%	17.0%
ネットワーク & コンテンツ	130	137	-4.9%	-4.5%
ドミノ	155	164	-5.6%	27.6%
その他	35	40	-13.7%	-13.8%

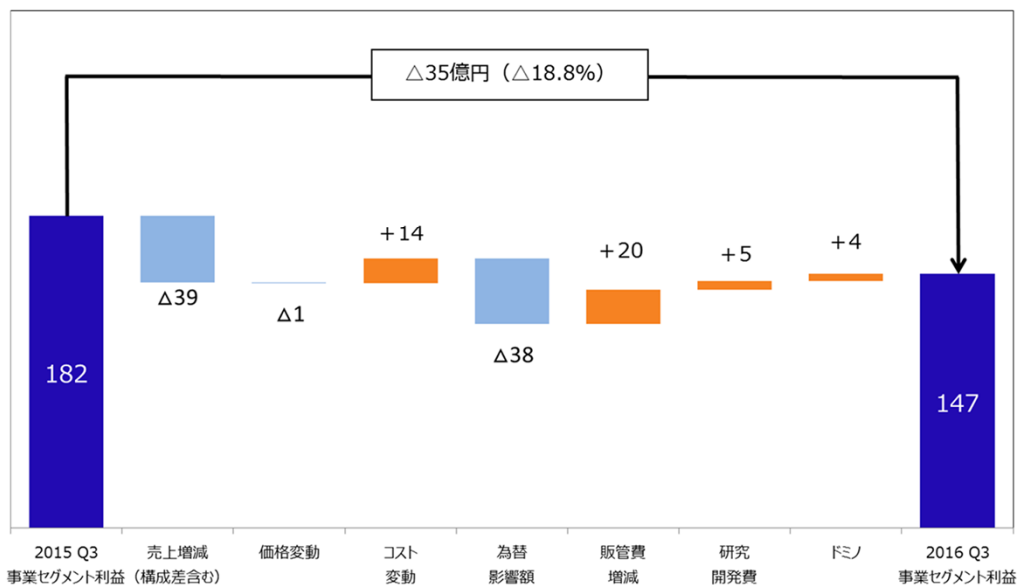
事業セグメント利益	16年度Q3	15年度Q3	増減率
全社	147	182	-18.8%
プリンティング & ソリューションズ	98	123	-20.6%
パーソナル & ホーム	12	19	-38.3%
マシンリー	13	19	-34.4%
ネットワーク & コンテンツ	9	7	25.6%
ドミノ	15	10	43.5%
その他	2	4	-36.9%
調整額	0	0	-

営業利益	16年度Q3	15年度Q3	増減率
全社	112	213	-47.5%
プリンティング & ソリューションズ	58	151	-61.8%
パーソナル & ホーム	10	19	-46.9%
マシンリー	14	23	-40.6%
ネットワーク & コンテンツ	8	5	52.9%
ドミノ	20	11	83.8%
その他	2	3	-37.9%
調整額	0	0	-

事業セグメント利益増減要因（16年度Q3実績）



単位：億円



© 2017 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4

第3四半期の事業セグメント利益の増減要因です。

前年同期に比べ、35億円の減益となっております。

まず売上増減の▲39億円の内訳ですが、

- P&S事業で ▲26億円、
- P&H事業で ▲4億円、
- マシナリー事業で +5億円、
- N&C事業で ▲9億円、
- その他で ▲6億円となっております。

なお、P&S事業ですが、為替レートが9月末に比べ円安となった影響で、在庫未実現利益の消去額が増加したことが、約30億円の減益要因となっております。

コストダウンのプラス14億円は、大半がP&S事業に関するものです。

為替影響のマイナス38億は、30億円がP&S事業、5億円がマシナリー事業、3億円がP&H事業となります。

販管費増減のプラス20億は、半分強がP&S事業、半分弱がN&C事業となります。

研究開発費は、全社では5億円の減少ですが、「収益力強化事業」であるP&S事業は10億円程度減少しています。逆に、「成長領域事業」であるP&H事業、マシナリー事業などで2～3億ずつ増加しております。

ドミノはドミノ事業に関する増減です。

2016年度Q3累計実績 セグメント別概要



単位：億円

売上収益	16年度Q3累計	15年度Q3累計	増減率	為替影響を除く 増減率
全社	4,769	5,228	-8.8%	2.7%
プリンティング & ソリューションズ	2,851	3,177	-10.3%	2.0%
パーソナル & ホーム	342	403	-15.1%	-3.5%
マシナリー	664	791	-16.1%	-9.5%
ネットワーク & コンテンツ	375	410	-8.5%	-8.2%
ドミノ	436	332	-	-
その他	100	115	-13.1%	-13.1%

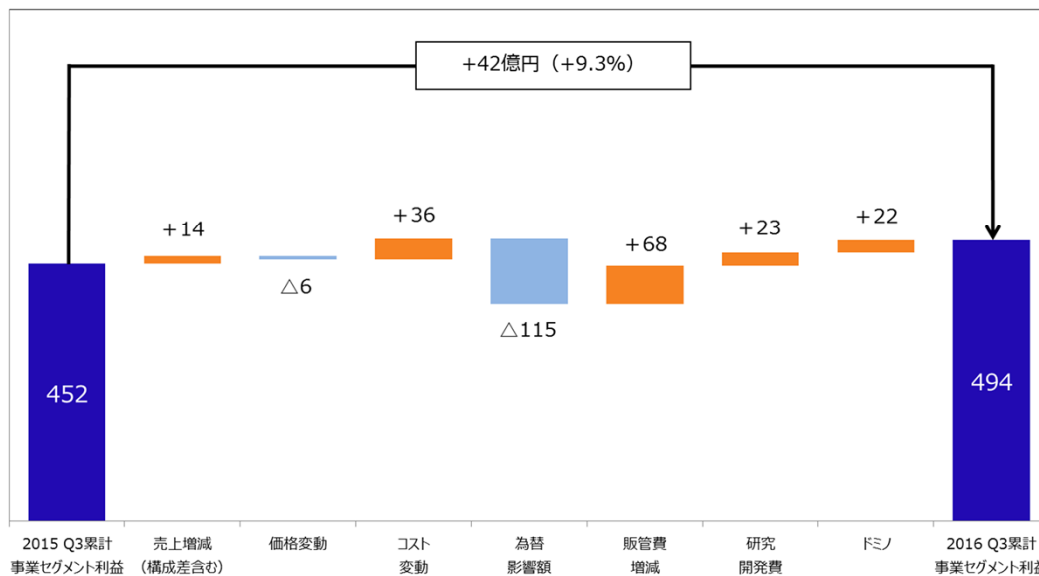
事業セグメント利益	16年度Q3累計	15年度Q3累計	増減率
全社	494	452	9.3%
プリンティング & ソリューションズ	379	266	42.5%
パーソナル & ホーム	16	44	-63.5%
マシナリー	42	105	-60.2%
ネットワーク & コンテンツ	19	15	24.0%
ドミノ	34	30	-
その他	6	11	-43.2%
調整額	-2	-19	-90.5%

営業利益	16年度Q3累計	15年度Q3累計	増減率
全社	473	515	-8.2%
プリンティング & ソリューションズ	360	314	14.9%
パーソナル & ホーム	15	46	-66.5%
マシナリー	45	108	-58.0%
ネットワーク & コンテンツ	8	13	-36.2%
ドミノ	39	29	-
その他	7	25	-73.5%
調整額	-2	-19	-90.5%

事業セグメント利益増減要因 <16Q3累計実績>



単位：億円



2016年度 連結業績予想概要



単位：億円

	16年度予想	前回予想	増減率	15年度実績	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	6,400	6,300	1.6%	6,821	-6.2% (+3.6%)
事業セグメント利益	600	550	9.1%	549	9.2%
事業セグメント利益率	9.4%	8.7%		8.1%	
営業利益	570	550	3.6%	586	-2.8%
営業利益率	8.9%	8.7%		8.6%	
税前利益	570	550	3.6%	572	-0.3%
純利益	430	390	10.3%	412	4.3%
換算レート					
USD	109.64	105.47		120.16	
EUR	119.54	117.09		132.36	

<業績予想の変更ポイント>

- 売上収益** : 主に想定為替レートの変更(1\$ 105円→115円 / 1€ 115円→120円) 影響により、100億円の上方修正
- 事業セグメント利益** : 主にP&S事業の収益性改善の進捗を考慮し、50億円の上方修正
- 純利益** : 税前利益の上方修正に加え、株式会社エクシングの完全子会社化に伴う税効果会計の影響を織り込み、40億円の上方修正

© 2017 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

業績予想の修正についてです。

前回予想から100億円の引き上げとなる、6,400億円としております。

ほぼすべてが為替レートを円安方向に見直した影響です。

USDは、105円を115円に、ユーロは115円を120円へと変更しています。

事業セグメント利益は前回予想から50億円の引き上げとなる、600億円としております。

こちらは為替の影響は15億円弱で、残りの30億強は、主にP&S事業の収益改善の状況を考慮し、引き上げたものとなります。

営業利益の引き上げ幅が20億円となっていますが、ユーロの期末レートを115円から120円へと円安方向に見直したことによる、為替予約に関する損失を織り込んだことが主な要因となります。

純利益については、第3四半期実績で計上したエクシングの完全子会社化による税効果の影響を織り込んだこともあり、前回予想から40億円の引き上げとなる430億円としております。

2016年度 連結業績予想 セグメント別概要



単位：億円

売上収益	16年度予想	前回予想	増減率	15年度実績	対前年増減率	為替影響を除く増減率
全社	6,400	6,300	1.6%	6,821	-6.2%	3.6%
プリンティング & ソリューションズ	3,829	3,716	3.0%	4,150	-7.7%	2.4%
パーソナル & ホーム	459	461	-0.4%	510	-10.0%	-0.3%
マシンリー	901	902	-0.1%	993	-9.3%	-3.5%
ネットワーク & コンテンツ	498	502	-0.8%	539	-7.6%	-7.4%
ドミノ	581	571	1.7%	483	20.2%	48.1%
その他	132	148	-10.9%	146	0.8%	-7.5%

事業セグメント利益	16年度予想	前回予想	増減率	15年度実績	伸び率
全社	600	550	9.1%	549	9.2%
プリンティング & ソリューションズ	462	420	10.0%	336	37.7%
パーソナル & ホーム	25	25	0.0%	48	-47.4%
マシンリー	51	46	10.9%	114	-55.3%
ネットワーク & コンテンツ	19	18	5.6%	22	-12.7%
ドミノ	38	37	2.7%	38	-
その他	5	4	25.0%	12	-57.7%
調整額	-	-	-	-20	-

営業利益	16年度予想	前回予想	増減率	15年度実績	伸び率
全社	570	550	3.6%	586	-2.8%
プリンティング & ソリューションズ	442	433	2.1%	390	13.3%
パーソナル & ホーム	25	25	0.0%	49	-48.7%
マシンリー	50	48	4.2%	114	-56.1%
ネットワーク & コンテンツ	6	4	50.0%	-5	-
ドミノ	42	36	16.7%	35	-
その他	5	4	25.0%	23	-78.2%
調整額	-	-	-	-20	-

※ドミノ事業は、15年度第2四半期会計期間から連結を開始したため、前年比較は表示しておりません

© 2017 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

プリンティング&ソリューションズ事業 売上収益・営業利益



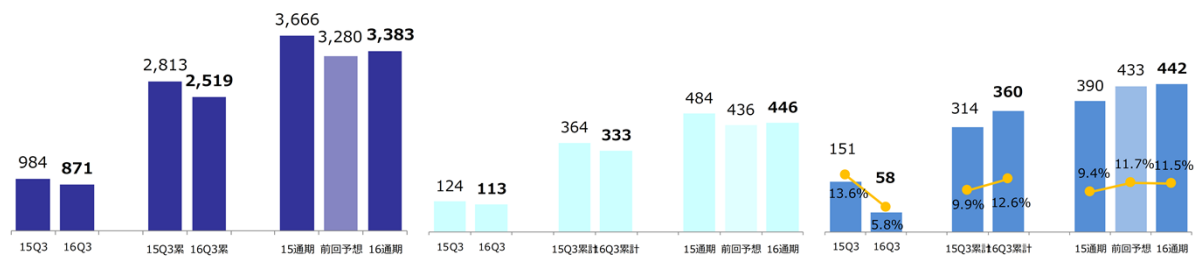
単位：億円

	15Q3	16Q3	増減率	為替影響 除く増減率	15Q3累計	16Q3累計	増減率	為替影響 除く増減率	15通期	前回予想	16通期	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,108	984	-11.2%	-1.0%	3,177	2,851	-10.3%	2.0%	4,150	3,716	3,829	-7.7%	2.4%
通信・プリンティング機器	984	871	-11.5%	-1.4%	2,813	2,519	-10.5%	1.7%	3,666	3,280	3,383	-7.7%	2.4%
米州	368	323	-12.0%	-0.7%	1,079	953	-11.7%	2.2%	1,393	1,238	1,285	-7.7%	3.3%
欧州	337	278	-17.6%	-5.4%	908	791	-12.9%	1.0%	1,221	1,054	1,076	-11.9%	0.3%
アジア他	145	138	-5.3%	6.2%	476	413	-13.2%	0.8%	600	532	543	-9.4%	1.9%
日本	134	132	-1.3%	-1.3%	350	362	3.4%	3.4%	453	456	479	5.7%	5.8%
電子文具	124	113	-9.1%	1.7%	364	333	-8.7%	4.1%	484	436	446	-7.8%	2.5%
米州	59	51	-13.8%	-3.5%	176	158	-10.2%	3.0%	230	207	213	-7.5%	2.8%
欧州	38	35	-8.9%	4.4%	108	97	-10.1%	3.9%	147	128	131	-11.1%	0.9%
アジア他	19	18	-7.0%	5.0%	54	50	-7.4%	8.1%	69	63	65	-5.4%	7.0%
日本	8	10	19.1%	19.1%	26	28	4.7%	4.7%	38	38	37	-1.7%	-1.0%
事業セグメント利益	123	98	-20.6%	-	266	379	42.5%	-	336	420	462	37.7%	-
営業利益	151	58	-61.8%	-	314	360	14.9%	-	390	433	442	13.3%	-

<売上収益> 通信・プリンティング機器

<売上収益> 電子文具

<営業利益>



© 2017 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

9

第3四半期は、地域別にみると、欧州がマイナス5.4%となっております。これは主に、10月から実施した消耗品の値上げの影響で、セルインが値上げ前の第2四半期に前倒しとなったことの影響となり、反動減となります。こういった要因を除けば、各地域とも概ね堅調に推移したと見ております。

<通信・プリンティング機器の本体・消耗品別の対前年売上伸び率（為替を除く）の内訳>

	Q3(3ヶ月)	Q3(累計)	通期
本体	+5%	+5%	+6%
消耗品	▲6%	▲1%	0%

<通信・プリンティング機器の印字カテゴリー別の対前年売上伸び率（為替を除く）の内訳>

	Q3(3ヶ月)	Q3(累計)	通期
インクジェット	フラット	+2%	+1%
レーザー	▲2%	+2%	+3%

<通信・プリンティング機器の売上収益に占める消耗品比率>

	Q3(3ヶ月)	Q3(累計)	通期
消耗品比率	58%	59%	60%

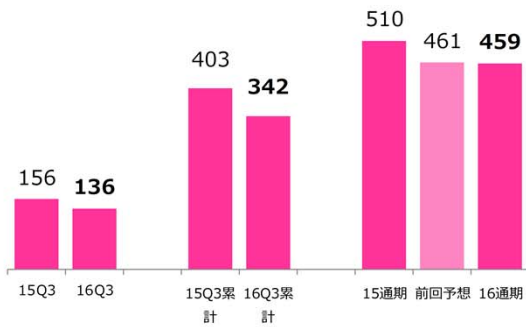
パーソナル&ホーム事業 売上収益・営業利益



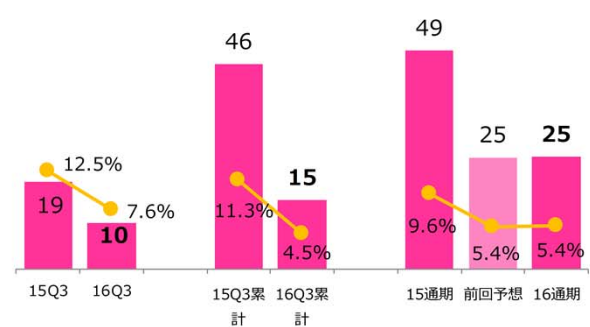
単位：億円

	15Q3	16Q3	増減率	為替影響 除く増減率	15Q3累計	16Q3累計	増減率	為替影響 除く増減率	15通期	前回予想	16通期	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	156	136	-12.9%	-3.2%	403	342	-15.1%	-3.5%	510	461	459	-10.0%	-0.3%
米州	96	80	-17.1%	-6.9%	248	199	-19.5%	-6.7%	304	270	266	-12.5%	-1.7%
欧州	33	31	-5.8%	5.7%	77	72	-6.1%	6.1%	101	90	94	-7.2%	3.4%
アジア他	16	15	-5.2%	4.5%	48	42	-12.7%	-1.0%	62	57	56	-8.6%	1.0%
日本	11	10	-8.3%	-8.3%	30	28	-5.6%	-5.6%	43	43	43	-0.9%	-1.1%
事業セグメント利益	19	12	-38.3%	-	44	16	-63.5%	-	48	25	25	-47.4%	-
営業利益	19	10	-46.9%	-	46	15	-66.5%	-	49	25	25	-48.7%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2017 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

10

第3四半期は、米州がマイナス6.9%の減収となり、全体を押し下げる要因となっています。米州ですが、リテールチャンネルでの販売が弱かったことが、背景となっています。価格帯の高い製品については、ほぼ計画線と堅調に推移しました。

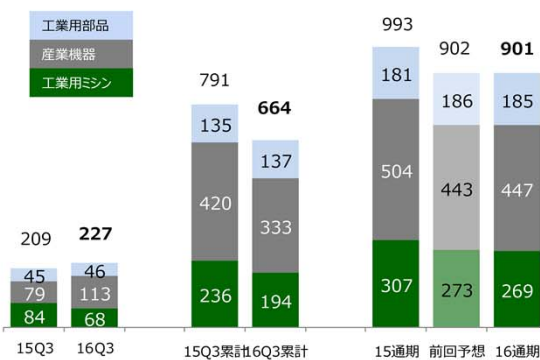
マシナリー事業 売上収益・営業利益



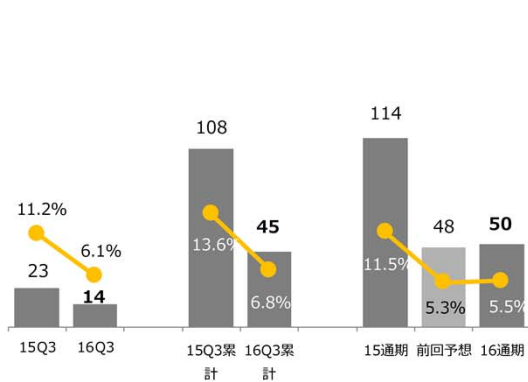
単位：億円

	15Q3	16Q3	増減率	為替影響 除く増減率	15Q3累計	16Q3累計	増減率	為替影響 除く増減率	15通期	前回予想	16通期	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	209	227	8.8%	17.0%	791	664	-16.1%	-9.5%	993	902	901	-9.3%	-3.5%
工業用マシン	84	68	-19.8%	-9.4%	236	194	-17.9%	-5.8%	307	273	269	-12.5%	-2.5%
産業機器	79	113	43.3%	52.0%	420	333	-20.6%	-16.1%	504	443	447	-11.3%	-7.0%
工業用部品	45	46	1.9%	4.6%	135	137	1.3%	4.7%	181	186	185	2.0%	4.8%
事業セグメント利益	19	13	-34.4%	-	105	42	-60.2%	-	114	46	51	-55.3%	-
営業利益	23	14	-40.6%	-	108	45	-58.0%	-	114	48	50	-56.1%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2017 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

工業用マシンは、円高の影響に加え、アジア地域での販売減の影響により、減収となりました。

産業機器は、昨年大きく落ち込んだ反動で大幅な増収となりました。
10月以降、受注の回復傾向が続いております。

工業用部品は、各地域ともまずまずという状況です。

マシナリー事業 売上収益・営業利益（地域別）



単位：億円

	15Q3	16Q3	増減率	為替影響 除く増減率	15Q3累計	16Q3累計	増減率	為替影響 除く増減率	15通期	前回予想	16通期	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	209	227	8.8%	17.0%	791	664	-16.1%	-9.5%	993	902	901	-9.3%	-3.5%
工業用マシン	84	68	-19.8%	-9.4%	236	194	-17.9%	-5.8%	307	273	269	-12.5%	-2.5%
米州	17	14	-15.2%	-5.0%	49	41	-16.8%	-4.7%	63	53	56	-11.3%	-1.4%
欧州	13	10	-21.5%	-12.0%	36	32	-11.0%	0.6%	46	46	43	-6.3%	4.2%
アジア他	53	42	-20.6%	-9.5%	146	117	-20.2%	-7.5%	192	168	164	-14.9%	-4.6%
日本	2	1	-26.6%	-26.6%	5	4	-13.2%	-13.2%	6	7	7	3.8%	-0.2%
産業機器	79	113	43.3%	52.0%	420	333	-20.6%	-16.1%	504	443	447	-11.3%	-7.0%
米州	5	7	26.4%	-	18	21	12.3%	-	25	29	27	7.5%	-
欧州	4	4	3.4%	-	17	15	-11.1%	-	19	22	20	5.7%	-
アジア他	51	83	63.0%	-	334	244	-26.9%	-	392	305	327	-16.6%	-
日本	18	19	2.2%	-	51	54	5.9%	-	68	88	73	7.3%	-
工業用部品	45	46	1.9%	4.6%	135	137	1.3%	4.7%	181	186	185	2.0%	4.8%
米州	7	6	-19.9%	-10.7%	21	19	-10.8%	1.4%	28	26	27	-4.7%	4.9%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	3	4	23.6%	40.8%	11	12	5.0%	22.5%	15	16	16	11.9%	26.4%
日本	35	36	4.5%	4.5%	102	106	3.4%	3.4%	139	144	142	2.2%	2.5%
事業セグメント利益	19	13	-34.4%	-	105	42	-60.2%	-	114	46	51	-55.3%	-
営業利益	23	14	-40.6%	-	108	45	-58.0%	-	114	56	50	-56.1%	-

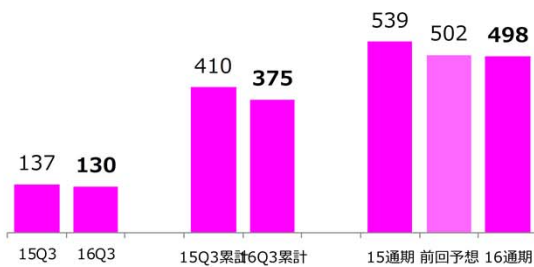
ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・営業利益



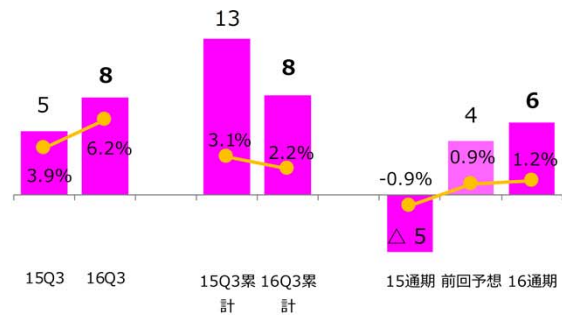
単位：億円

	15Q3	16Q3	増減率	15Q3累計	16Q3累計	増減率	15通期	前回予想	16通期	対前年増減率
売上収益	137	130	-4.9%	410	375	-8.5%	539	502	498	-7.6%
事業セグメント利益	7	9	25.6%	15	19	24.0%	22	18	19	-12.7%
営業利益	5	8	52.9%	13	8	-36.2%	-5	4	6	-

<売上収益>



<営業利益>



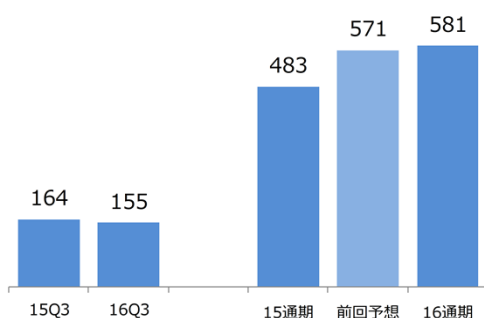
© 2017 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

第3四半期は、新製品投入直後だった昨年に比べると減収とはなっていますが、ほぼ想定どおりで、全体的には堅調に推移しました。
利益面は、構造改革の効果に加え、経費削減・店舗収益の底上げなどの取り組みの効果もあり、増益となっております。

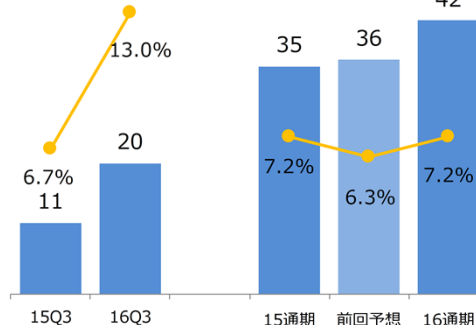
	15Q3	16Q3	増減率	£ベースの増減率	15通期	前回予想	16通期	対前年増減率	£ベースの増減率
売上収益	164	155	-5.6%	27.2%	483	571	581	-	-
米州	36	42	15.2%	55.2%	112	135	144	-	-
欧州	84	75	-11.3%	19.5%	239	278	281	-	-
アジア他	44	38	-11.8%	18.8%	133	158	157	-	-
事業セグメント利益	10	15	43.5%	-	38	37	38	-	-
営業利益	11	20	83.8%	-	35	36	42	-	-

※15年度通期は連結を開始した第2四半期以降の9か月分の業績
※第3四半期累計値は前年との比較ができないため記載を省略

<売上収益>



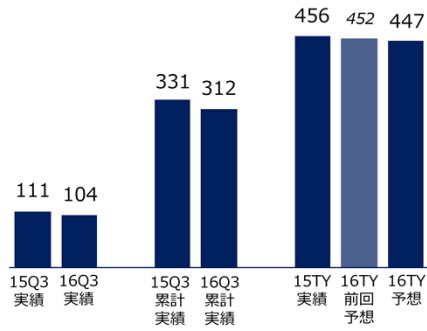
<営業利益>



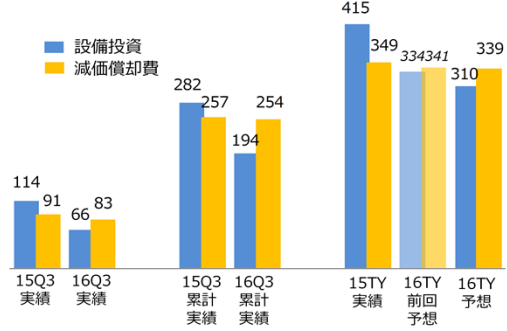
主要通貨に対してポンド安となったことで、円建てでの売上は減収となりましたが、ポンドベースでは高い伸びとなっております。足元では特に消耗品などのアフタービジネスが堅調に推移しており、現地通貨ベースでも一桁半ば程度の増収となっております。

事業セグメント利益は、約40%増の15億円となりました。為替のマイナス影響が5億円程度ありましたが、売上増による粗利増加により、増益となっております。

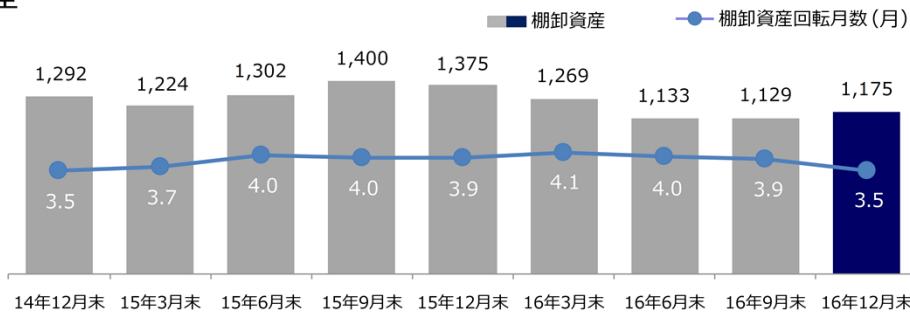
研究開発費
(億円)



設備投資・減価償却費
(億円)



棚卸資産
(億円)



※15年6月末の棚卸資産残高にはドミノ事業分を除外して表示しております
 ※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

brother
at your side